

特別賞

「かこちゃんのおひなさま」

マール・シニダヘワ

本のカバーは一人の女の子と猫の一匹とお雛様の絵があります。画風は面白くて明るいです。おんなのこがにこにこしながら、お雛様を見ます。そして、お雛様の後ろにねこが隠れています。本の絵を見ればみなさんがいつも元気そうです。

でも読めば、本が深い意味があることを分かるようになります。本では家族と友達の絆がとても大切です。それに、本の中ではひな人形を作る説明も入っています。本の話はかこちゃんという女の子を中心しています。かこちゃんは家族と一緒に山のりんご園に住んでいます。そして、みなこ

ちゃんはかこちゃんの隣に住んでいます。両親は東京で働いて、ひな人形を送りました。かこちゃんも雛人形がありますが、おばあさんがくれた花巻人形です。大好きでしたが、今ちよつとつまらないと思いました。次の日、かこちゃんのおねえさん、あやねちゃん、はみんなと一緒にかこちゃんのために雛人形を作りたかったです。だから、みんなは材料を集めました。かこちゃんが寝ながらみんなは人形を作りました。みんなは一生懸命頑張つて、かこちゃんにあげました。わたしは手工品であまり上手ではありませんから、かこちゃんの家族は本当に偉いと思いました。もちろん、かこちゃんはとても嬉しくて、みなこちゃんに言いました。でも、みなこちゃんが泣きました。両親は東京で働きますから、ちよつと寂しいです。

かこちゃんはみなこちゃんの顔を見ながら、いい考えをおもつきました。あの晩、かこちゃんはみなこちゃんとみなこちゃんのおばあさんをよんで、もう一度雛祭りをしました。その後で、みんなと一緒に遊びました。そして、ハッピーエンドで終わります。

この話の意味は幸せだと思います。かこちゃん は最初に悲しかったですが、家族のおかげでうれしくなりました。そして、かこちゃんは美奈子ちゃんの寂しさを見ましたから、美奈子ちゃんも幸せになつてほしかったです。私の友達の話に似ていますから、ちょっと感動しました。みんなが本当になかよくしますから、あの話が好きです。子供にとつていい本だと思います。か族と友達にいつもいたいですから。